

## 連休中も支援続々宮城にむかう

大震災から1週間以上が過ぎ、阪神大震災を大きく上回る被害の大きさが明らかになってきています。東京民医連各事業所からの現地支援は継続され、この連休中も以下のチームが現地に入っています。

### <3/19(土) 出発>

- ・ほくと医療生協チーム9人：伊藤雅天 Dr、高橋慶 Dr、永田拓也 Dr、松木久美子 Ns  
菅原晴美 Ns、森徹哉事務、川口太郎事務
- ・健生会・西都・地域福祉チーム9人：藤井幹雄 Dr、関根隆一 Dr、野澤信吾 Dr、伊藤淳 Ns  
竹村恵子 Ns、高橋由香里 Ns、久保田満 PT、八木郁夫事務、大神田伊曾美元職員
- ・三多摩全日本バス同乗チーム3人：島野清薬剤師、浅野智央薬剤師、小林洋美薬剤師
- ・東京民医連・東京平和委員会・東京芸術座チーム3人：吉田孝喜事務+平和委員会・芸術座

### <3/20(日) 出発>

- ・城南福祉チーム6人：山本博 Dr、益浦亜理香 Dr、保坂泰樹介護福祉士、谷岸祥行事務  
田口大樹事務、金子輝人事務
  - ・大泉生協・東京民医連チーム3人：小山千里 Ns、齋藤裕幸事務、秋濱洋一事務
  - ・健生会・相互歯科チーム4人：松澤広高 Dr、相曾訓子 DH、高谷君代 DH、中澤優 DT
- ＊ ＊連休明けの22日は健康文化会チーム、健生会・地域保健企画チームの2組が出発予定です。また、23日は物資搬送定期便が出ます。

### 東京保健生協第2次支援隊 根岸院長先頭に夜半に出発

18日の深夜に第2次支援隊が出発をしました。今回は根岸東京健生病院長を団長に医師3人、看護師2人、事務3人でむかいました。夜に(写真)東京を出発し、19日の朝5時に坂総合病院に到着しました。職員や患者様、地域の組合員さんから提供された支援物資や義援金の一部も持って行って、21日の午後まで支援活動にあたります。



### 福島県の被災者の医療受入進む

**みさと健和クリニック**：福島から避難された透析患者さん4人の受入を決定。

**柳原腎クリニック**：職員の伯母さんが第一原発30km圏内におり避難。透析は柳原で。

**生協北診療所**：災害医療透析ネットワークから連絡があり、夜間透析外来に福島の患者さん5人受入決定。

**代々木病院**：透析患者受入東京ネットワークから要請あり、5人の患者さんの受入決定。その他にも、「甲状腺に疾患を抱えて、いわきから避難してきました。明日代々木を受診したい」

など、次々に受診希望の方々が避難して来ています。

### 労使共闘で史上最大の募金運動

代々木病院、代々木歯科、外苑企画は労使共闘で、代々木駅前史上最大の募金運動を行いました。職員75人がハンドマイク2台で「医薬品が足りません。私たちの病院法人で現地支援をしています」と訴えると、通り過ぎ戻ってきて募金をしてくれる方もおり、短時間に20万円を超える募金が集まりました。